

平成 25 年度第 2 回理事会抄録

日時：平成 25 年 5 月 18 日（土） 13：00～14：55

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、清水（副会長）、荻原、香山、小林、佐藤善、谷、土井、陣内（常務理事）、宇田、荻山、北山、坂井、高島、東、藤井、三澤、森（理事）、古川、長尾、岩崎（監事）

傍聴：小賀野（企画調整委員長）、佐藤大（総会議事運営委員長）、伊藤（選挙管理委員長）、岡本（事務局財務担当）、岩佐（都道府県士会連絡協議会長）

I. 審議事項

1. 役員選出規程の一部改正について（荻原事務局長）社員総会での役員選出の際、得票数が同数の場合、候補者による抽選が行われるが、候補者本人が議場にいない場合の具体的な抽選方法を役員選出規程第 22 条 6 項として付け加える。 →承認

2. WFOT2014 大会における JAOT 企画シンポジウムについて（小林学術部長）JAOT 主催シンポジウムへの海外の講師の招聘に当たり、渡航費、宿泊費、参加費、謝金を JAOT より支出する。国内の講師へは謝金のみとする。 →承認

3. 平成 25 年度第 1 回認定作業療法士審査結果について（陣内教育部長）更新申請者 13 名中 13 名を申請可、新規認定申請者 14 名中 13 名を申請可とした。 →承認

4. 会員の入退会について（荻原事務局長）①法人賛助会員の退会 2 件、②会員資格喪失後の再度入会希望者 12 名、③原発事故避難会員の会費免除申請 4 件。 →承認

II. 報告事項

1. 平成 25 年度定時社員総会の議事進行について（佐藤大総会議事運営委員長）総会の概要、スケジュール、議場の詳細について説明。議案についての会員からの質問事項と回答は当日参加者にも配布する。

2. WFOT Lectureship の推薦について（山根副会長）鎌倉矩子氏を推薦にするに当たり、日本の作業療法の学術的基盤をつくられたことを評価点とする資料を作成し、WFOT に提出した。

3. 第二次作業療法 5 カ年戦略について①（荻原事務局長）第二次 5 カ年戦略の最終的な確認を行う。②（小賀野企画調整委員長）第一次 5 カ年戦略の機能評価を含めた取りまとめの案を提示。修正があれば 21 日までに連絡する。

4. 一般財団法人訪問リハ振興財団の平成 24 年度決算報告について（谷広報部長）4 月 25 日に平成 25 年度第 1 回理事会が開催され、

平成 24 年度事業及び決算報告が承認された。

5.岩手県岩泉町委託事業の活動報告（香山災害対策室長）岩泉町からの委託を受け展開してきた「高齢者の新たな生きがい創造事業」の活動報告書が完成した。今後、これを地域への関与のモデルとして会員への周知のため、機関誌に載せるという案が出された。

6.平成 24 年度作業療法推進活動パイロット事業の報告について（森士会組織担当）京都府と宮崎県からパイロット事業の実績報告書が提出された。合同役職者研修会において報告される。

7.第 11 回協会・都道府県士会合同役職者研修会のプログラムについて（宇田士会組織担当）プログラムの内容について検討がされた。2 日目の認知症初期集中支援チーム関連と生活行為向上マネジメント関連の 2 つのテーマの進め方について議論され、最初に協会からのプレゼンを行い、その後 15 人程度のグループに分かれて討論をし、最後に総括するという進め方でいくことが決定された。

8.渉外活動報告 書面報告

9.その他

東制度対策副部長：来年度の診療報酬改定に向け、関係団体の賛同書をとるために団体を絞り込んで交渉に当たっていく。理事の方の協力をお願いしたい。

中村会長：総会資料の予算書の中にミスが見つかった。理事会承認のあとであり、総会の冒頭で報告してから審議を進めることとする。

山根副会長：当協会の紹介のための英文の文書が作成された。世界大会のホームページに載せる。

佐藤善国際部長：「養成校における国際交流に関する意向・実態調査」の結果報告。養成校でも国際経験者が増えており、今後の有効活用が見込まれる。

小林学術部長：WFOT の演題登録が締め切られ、結果的に 3,000 を超えた。都道府県別の登録数の集計等が報告された。

岩崎監事：生活行為向上マネジメントの商標登録のその後の進展について質問がなされた。

清水副会長：日本公衆衛生協会からの補助事業の地域総合推進事業に 390 万円の予算が下りる。日本理学療法士協会とともに事業を進める。

荻原事務局長：理事の方々は議案書、前回の議事録、議案書への質問・回答を熟読して、25 日の総会に向けて準備をお願いする。

以上